

H29年度 第1回 都市公園指定管理者評価委員会 会議概要

1. 日 時 平成29年5月31日（水曜日）午後1時33分から午後3時35分まで
2. 場 所 大阪府庁別館7階 都市計画室会議室
3. 出席者
山田委員長、嶽山副委員長、呉委員、関野委員
4. 議題
 - (1) 正副委員長の選任について
 - (2) 都市公園指定管理者評価委員会の進め方について
 - (3) 評価項目や評価基準の設定について
 - (4) 評価委員役割分担とスケジュールについて
 - (5) 表彰制度の導入について
 - (6) その他
5. 主な議事内容
(太字：委員 細字：事務局)
 - (1) 正副委員長の選任について
 - ◇ **委員の互選により山田委員が委員長に、委員長の指名により嶽山委員が副委員長に決定**
 - (2) 都市公園指定管理者評価委員会の進め方について
 - ・ 事務局より都市公園指定管理者評価委員会の進め方について説明
 - ⇒ **了承**
 - (3) 評価項目や評価基準の設定について
 - ・ 事務局より指定管理者の評価項目や評価基準の設定について説明
 - ⇒ **了承**
 - (4) 評価委員役割分担とスケジュールについて
 - ・ 評価委員の役割分担とスケジュールについて説明
 - ◇ **現地視察について、抜き打ちというのはけっこう大事な要素。指定管理者からの取組みに関するプレゼンもしっかり評価の中に反映したいということもあると思うので、プレゼンする時間を別途取れるのであれば、抜き打ち制を残すという方向はないか。プレゼン時間が20分、30分でそんなに重要視できないくらいの時間であれば抜き打ちの方がよいという判断もある。抜き打ちをとるか、プレゼンの重要性をとるか。**

- ◇ 年に1回のオンシーズンの抜き打ちをするより、オフシーズンも含め、土木事務所の方が年間通してチェックしている方がよほど信頼できる。抜き打ちでやるのであれば年4回くらいしないとわからない。

⇒ 指定管理者がどのような取組みをしようとしているのか、思いの強さなどを直接聞き取っていただくことで、表彰や評価の参考になりうると考えている。また近年、管理レベルも上がり、抜き打ちが必要な段階から、指定管理者自らの思いの強さや、より充実した取組みに繋げていただくためのコミュニケーションを重視した方がよい段階に入ったと考え、提案させていただいた。

- ◇ プレゼン時にできるだけ客観的な数字等で示してほしい。客観的にその場で見て判断できるような情報を是非出してほしい。あと、プラスアルファの取組みも（盛り込んでほしい）。
- ◇ 今年度やってみて著しく不都合が生じるようであれば、また元に戻すなりいろいろ対策はある。
- ◇ 了解。

(5) 表彰制度の導入について

- ・ 事務局より指定管理者の表彰制度の導入について説明

- ◇ （表彰を受けたことが）現状では、次の指定管理者募集時のプラスにはならない。しかし、知事から賞状をもらい、こういった優良な表彰を受けているということ事体が、他の業務にも生かせるし、メリットもいろいろあると考える。今後、次の指定管理者募集時のプラスになる方向になればより良いと思うが。

- ◇ 収益事業で、どれくらい儲かったか、収益をどう使ったかといったことも出てくるのか？（表彰対象となるか）

⇒ （収益を）すべて府に還元することは義務付けていないため、儲けた分からどのように還元したかというところは表彰対象になる。収益事業については、必ずしも収益額だけ进行评估するものではないので、実際その取組みはどのようなものか、提案に応じてどうされたかということを説明させていただく。

- ◇ 了解。

(6) その他

- ◇ 特になし。